



IHE-Jコネクタソン2009

LTW (MB)

Laboratory Testing Workflow (MicroBiology)
について

日本IHE協会 接続検証委員会

はじめに

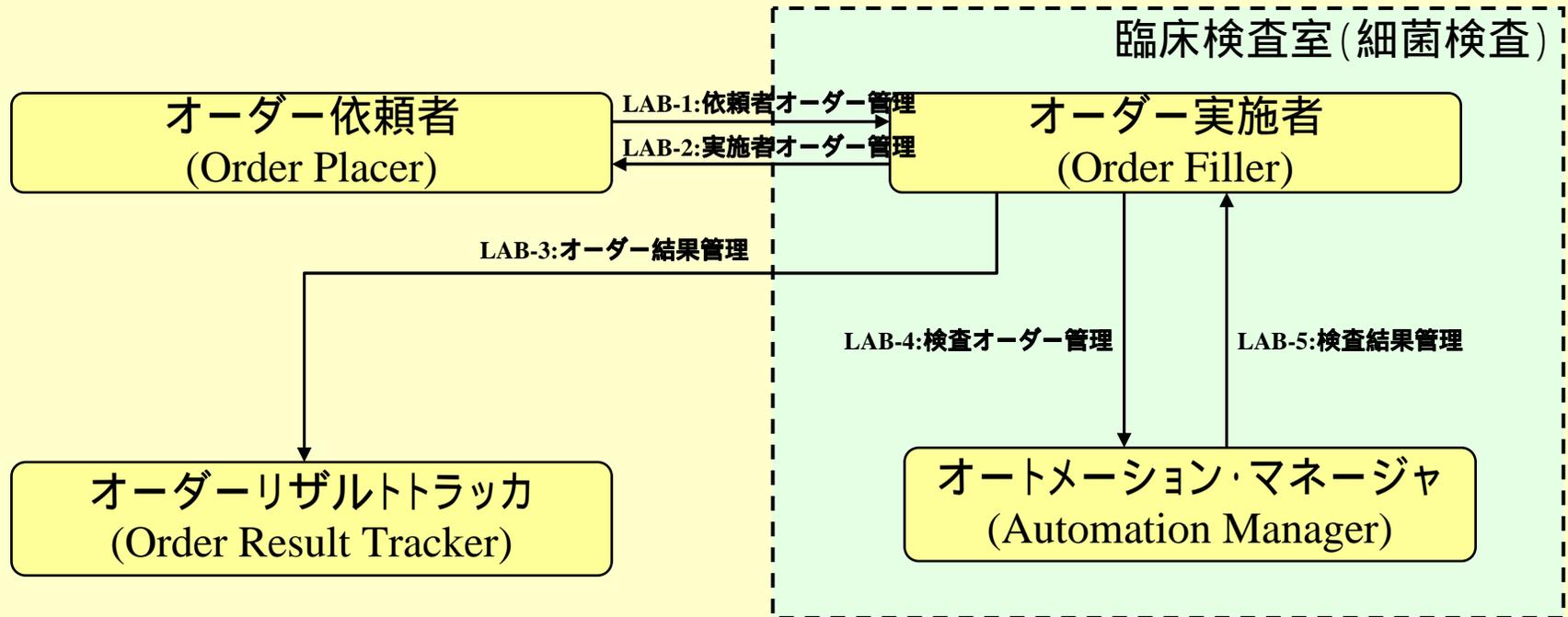
- LTW(MB)については、仕様をかなり絞っています。
- 基本的な電文仕様等については検体検査と同じ仕様です。そちらも合わせて参照ください。

LTW (MB) のアクターたち



アクター は、抽象化された機能ユニット

トランザクションは、アクター間の情報交換仕様

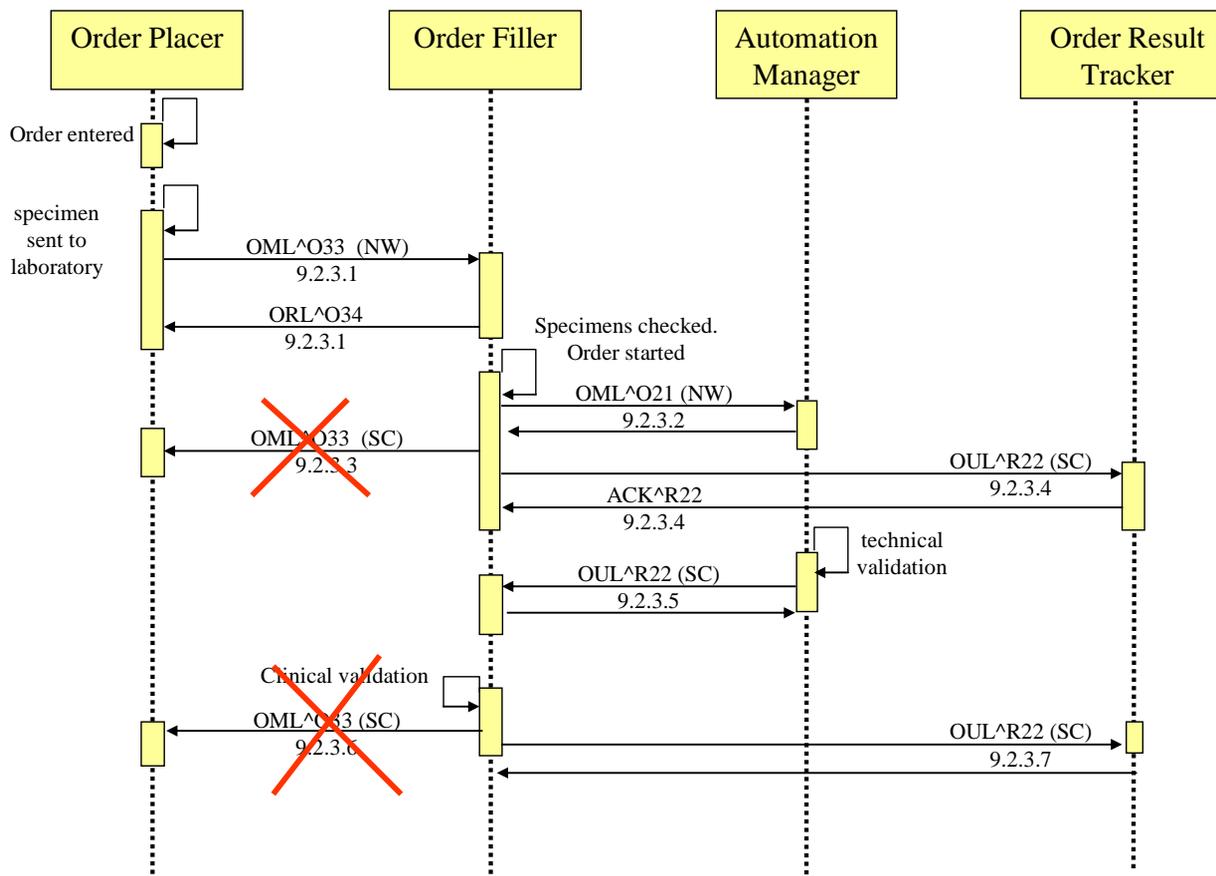


テストシナリオ(予定)

- コネクタソン2009では、一般細菌検査のみとなります。抗酸菌検査については今回は範囲外とさせていただきます。
- テストシナリオの詳細についてはコネクタソン2009LTW(MB)シナリオをご参照下さい。
- 検体検査とのポートを変える形になります。

実装モデル

- 日本ではOPとORTが同一システムに実装される事がほとんどなので、**X**のトランザクションを省略する



LTW(MB)基本シーケンス

- (0. 患者情報通知 ADT OP, OF) PAM
- 1. 依頼電文 (ラベル情報なし) OP OF
- 2. 削除電文 OP OF
- 3. 依頼電文 (ラベル情報付) OP OF (ラベル情報はOPで発番)
- 4. 結果電文 (到着確認) OF ORT
- 5. 結果電文 OF ORT

使用するメッセージ

- (0. 患者情報通知 ADT^A08/ACK^A08) PAM
- 1. 依頼電文
 - OML^O33 (ORC1=NW)/ORL^O34
- 2. 削除電文
 - OML^O33 (ORC1=CA)/ORL^O34
- 3. 依頼電文(ラベル情報付)
 - OML^O33 (ORC1=NW)/ORL^O34
- 4. 結果電文(到着確認)
 - OUL^R22/ACK^R22
- 5. 結果電文 OF ORT
 - OUL^R22/ACK^R22

OML^O33の構造とSPMセグメントの取り扱い

● OML^O33^OML_O33

● MSH

● [

● PID

● [PV1]

●]

● {

● SPM

● [{SAC}]

● {

● ORC

● [{TQ1}]

● [

● OBR

● [{

● OBX

● }]

●]

● }

● }

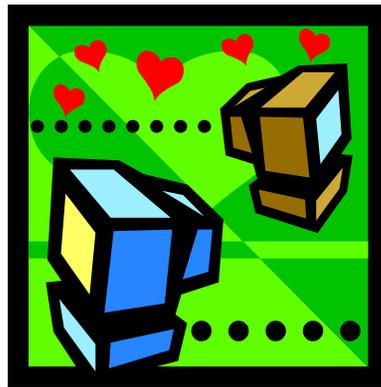
項番	長さ	扱い	繰返	項目	設定値
1	4	O		セットID	1 OML 電文内の通番
2	80	O		検体ID	<OP 側検体管理番号>&<ラベル制御>&<OP 側バーコード>>&<OF 側検体管理番号>&&<OF 側バーコード>
4	250	R		検体タイプ	JLAC-10 項目コードの材料部分(10,11,12桁)の3桁を使用する <材料コード>&<材料名>&JC10
8	250	R E		検査材料・検査部位	<部位コード>&<部位名>&JC10
17	26	O		検体採取日時	採取日時を設定する (YYYYMMDDHHMM) HHMM はオプション (なければ 0000 とみなす) OBR-7 と同じ
27	250	O		採取管タイプ	<容器コード>&<容器名称>

・ラベル制御はSPM-2に記述する。コネクタソン2009では'OP'固定とする。(検体検査同様)

・検体検査と違い、SPM-8に部位を格納する。(今回は必須ではない)(JLAC-10 材料コード を参照)

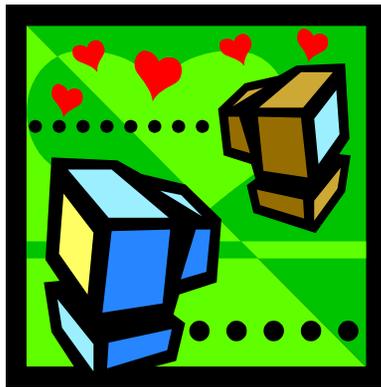
部位コードについて (SPM - 8)

- コーディングシステム名を記述する
- 部位コード ^ 部位名称 ^ JC10
(JLAC-10の材料コード を使用します)
- ローカルコードの場合は“L” など(コネクタソンでは原則JC10です)



項目コード、同定菌コードについて(OBX - 3)

- コーディングシステム名を記述する
- 検査項目コード ^ 検査名称 ^JC10
同定菌コード ^ 同定菌名称 ^JNS
(同定菌については、JANISのコードを使用します)
- 身長、体重の患者プロフィールコードもJLAC-10
- ローカルコードの場合は“L”(コネクタソンでは原則JC10です)



JLAC-10について

- 分析物(5) 識別(4) 材料(3) 測定法(3) の15桁
- プラス結果識別(2) の17桁

検査項目

- 塗抹鏡検(一般細菌)
- 培養同定(一般細菌)
- 薬剤感受性検査(一般細菌) . . .

部位(材料コード)

- 口腔
- 小腸, 十二指腸膨大部 . . .

- 使用する項目はコネクタソン2009LTW(MB)シナリオをご参照下さい。

<http://www.medis.or.jp/>からダウンロード可能

JANISについて

同定菌については、JANISコードを使用する。

GNR

- Pseudomonas aeruginosa
- Escherichia coli
- proteus mirabilis . . .

GPR

- Listeria monocytogenes
- Corynebacterium . . .

- 使用する項目はコネクタソン2009LTW(MB)シナリオをご参照下さい。

<http://www.nih-janis.jp/>からダウンロード可能

前回参加ベンダーが少なかった
ので是非ご参加ください。



ご清聴ありがとうございました。